

かめのりスクール 2017 報告

かめのりスクール2017の目的

日本とアジアの青少年が交流を通して相互理解を促進することを目的とする。

目標

グループで協力して課題に取り組み、以下を達成することを目標とする。

- ① コミュニケーション能力を伸ばす
- ② 協力してタスクをやり遂げる
- ③ 異なる文化を持つ人との交流を楽しむ

期間

7月23日(日)～7月28日(金) 「かめのりスクール@東京」

7月28日(金)～8月1日(火) 「かめのりスクール@御殿場」

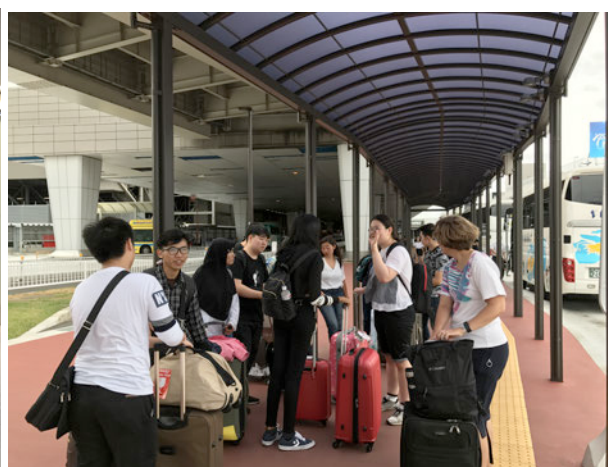
参加者

アジア5か国(インドネシア、マレーシア、中国、韓国、タイ)から男女各1名
日本の中高生20名

活動報告

【7月22日(土)夜から7月23日(日)】

22日夜に中国からの2名の参加者が成田に到着。23日朝にインドネシア、マレーシア、タイ、韓国からの参加者も到着し、10名元気に揃って東京市ヶ谷のホテルにバスで向かった。



【7月23日(日)】

市ヶ谷のホテルに到着し、滞在中のスケジュールや注意事項についてのオリエンテーション。続いての名前を覚えるゲームなどで盛り上がり、来日後半日で皆すっかり仲良くなった。夕方、大学生スタッフと新宿に行き、東京の電車を初体験した。

夜の振り返りでは、びっくりしたこととして、人が多い、街がきれい、といった声があがっていた。



オリエンテーション(アイスブレーキング)



都庁展望台



新宿散策



一日の振り返り

【7月24日(月)】

「新しい日本を見に行こう」というテーマで、渋谷、原宿に出かけた。渋谷のスクランブル交差点を渡り、昼食は原宿のクレープを食べ、若い人の街を満喫した。立ち寄った明治神宮では鳥居の大きさや都会の中の緑に感動したようだった。



ホテルに戻り、午後は和太鼓を体験した。皆リズム感がよく、撥さばきも見事で、楽しそうに太鼓をたたいていたので、和太鼓の先生に大いに褒めてもらった。



【7月25日(火)】

「古い日本」をテーマに茶道体験、歌舞伎座ギャラリー見学、浅草、江戸東京博物館をまわった。茶道は茶葉を挽くところからの体験、歌舞伎座ギャラリーでは小道具や衣装に触れることもでき、それぞれの場所で日本の伝統文化に実際に触れることができた。夕食は回転寿司に行き、すしだけでなく、どんぶりやデザートも堪能した。



【7月26日(水)】

「アニメの日」として、三鷹ジブリ美術館と秋葉原に出かけた。あいにくの雨模様だったが、アニメに関心を持っている生徒も多く、お土産の買い物もでき、楽しそうな様子だった。



【7月27日(木)】

生徒たちは26日(水)の夜から2泊3日のホームステイを体験した。ホストファミリーと対面したときは緊張した面持ちだったが、28日(金)に再集合したときは、「楽しかった！」と最高の笑顔を見せてくれた。旅行や研修とは違う日本の家庭生活を体験することで、日本への興味が更に高まり、文化や人への理解が深まったようだ。



【7月28日(金)】

3泊4日の研修プログラムが始まった。日本人中高生20人と東京駅で合流し、バスで静岡県御殿場のYMCA東山荘へ。初めはアジアの生徒たちも日本人中高生もよそよそしい様子だったが、5つのグループに分かれて荘内をオリエンテーリングする頃には打ち解けていた。



夜のチームビルディングでは、グループごとに「アジアの旗」を作成した。皆がアジアの一員であることを認識し、アジアのイメージをグループで考え、これからアジアをどうして行きたいか、どうなしてほしいかなどの期待、祈り、希望が込められた旗が5枚出来上がった。

アジアの生徒たちは講師、スタッフと20分ほどのミーティングの時間を毎日設けた。どの位グループ活動の内容を理解しているか、分からない点はないか、困っていることはないかなどを確認するためだったが、皆日本語力も協調力もあり、スムーズに楽しく活動を行っている様子だった。



【7月29日(土)】

テーマは「つたえる・つたわる」。伝えたいことをどう伝えたらよいかを考え、最終日にその成果を発表する。午前中に、実際のコマーシャルやポスターを見て、何が伝わってきたかをディスカッションしたり、言葉だけの伝達で伝えたいことが伝わらないことを実感したりした。午後は「感謝」を伝えるスキットをグループで考え、皆の前で披露した。

最終日の発表はグループごとに違うトピックについて発表することになった。「探求する」「思いやる」「挑戦する」「支え合う」「認め合う」の5つで、他のグループには自分のグループのトピックは開示せずにおき、発表で、そのトピックが伝わっているかを確認するという難しいタスクが与えられた。

夜は大学生スタッフが趣向を凝らしたキャンプファイヤーを楽しんだ。ジェスチャーゲーム、山手線ゲームではしゃいだ後は、一人ひとりが「かめのりスクール」で達成したいことの決意表明を行い、意義深いキャンプファイヤーとなった。



【7月30日(日)】

最終日の発表に向けて、グループごとの作業を進めた。午後からは2017年1月に実施した「かめのり中高生アンバサダープログラム(KTAP)」でフィリピンに派遣された7名が参加。彼らは「KTAP」での自らの体験を振り返るセッションのために参加したが、同時に、「かめのりスクール」生のグループスキットを見て、ピアの立場からのフィードバックを行うという役目も果たした。

夜のAsian Timeでは、KTAP生のフィリピン体験発表、アジアの生徒たちの本国の生活についての発表を聞いた。どれも興味深い発表で、日本人中高生にとってはアジアへの理解を深めるとても良い機会となった。



【7月31日(月)】

スキット発表はどのグループもトピックを深く掘り下げており、場面設定が上手にされていた。ポスターもどれも力作揃いで、トピックはきちんと見る側に伝わったものとなった。

「探求する」・・・探究心を持つ少年が幼い頃からいろいろなことに疑問を持ち、その答えを探求することで立派な大人になる

「思いやる」・・・反抗期の少年が両親の思いやりの心を知り、家族がまとまっていく

「挑戦する」・・・叶わないだろうと周囲から思われていた夢に向かって挑戦し、その夢をかなえた青年たち

「支え合う」・・・バレーボールチームで、上手な選手、下手な選手、怪我をした選手、それぞれが他を支えて頑張る様子

「認め合う」・・・桃太郎と鬼がお互いの立場に立って考えてみたところ見えていなかったものが見えてきて、争いをやめて仲良くなる



12時に東山荘をバスで出発。日本人中高生は新宿駅でバスを降り、アジアの生徒たちは市ヶ谷に戻った。夕方、ホストファミリーの方々も見えて、体験発表会・歓送会を行った。生徒たちは分担して9日間の体験を立派に発表、感動的な歓送会となった。



【8月1日(火)】

前夜に成田に移動、午前の便でそれぞれの国に帰って行き、無事に「かめのりスクール2017」が終了した。

(前夜からの発熱のためインドネシアの男子生徒は大事を取って出発を延期。翌日には熱が下がり、4日(金)の便で無事に帰国することができた。)

